

告訴事実追加申立書

2014（平成26）年2月13日

東京地方検察庁

検事正 伊 丹 俊 彦 殿

告発人の表示

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目14番4号 AMビル4階
薬害オンブズパーソン会議
代表 鈴木利廣

被告発会社の表示

〒106-8618 東京都港区西麻布4丁目17番30号
ノバルティスファーマ株式会社
代表取締役 二之宮義泰

平成25年11月1日付告発状の告発事実に、以下の事実を追加する。

- 3 2012年3月発行の日経メディカルにおいて、
- (1) 「JIKEI HEART Studyの対象は、心不全や冠動脈疾患などの心血管疾患を伴う高血圧患者3,081例で、複合心血管イベントにおいて、ディオバン併用群が従来治療群よりも相対リスクを優位に低下させるという結果を得ました。」（疎9、145頁望月）
 - (2) 「KYOTO HEART Studyの対象は、ハイリスク高血圧患者3,031例で、複合心血管イベントの相対リスクが、ディオバン併用群で従来治療群に比し

て45%優位に低下しました。」（疎9、145頁松原）

- 4 2012年5月発行の日経メディカルにおいて、
「こうした基礎研究のデータは、JIKEI HEART Study や KYOTO HEART Study
において、従来治療群と比べてディオバン併用群で脳卒中が優位に減少
するとの結果が出たことで裏付けられました。」（疎10、109頁堀
内）

- 5 2012年6月発行の日経メディカルにおいて、
 - (1) 「JIKEI HEART Study や KYOTO HEART Study では、狭心症による入院が
ディオバン併用で優位に減少しています。」（疎11、55頁島本）
 - (2) 「同ガイドラインには、先程ご紹介のあった JIKEI HEART Study が引用
され、ディオバン追加群で脳卒中が40%優位に抑制されたとのエビデ
ンスが明記されています。」（疎11、56頁内山）
 - (3) 「KYOTO HEART Study でも、ディオバン追加群で脳卒中が45%優位に
抑制されており、これらの日本人を対象とした大規模臨床試験でディオ
バンの主に一次予防と考えられる非常に強い脳保護作用がエビデンスと
して示されています。」（疎11、56～57頁内山）

以上

疎明資料

疎9 日経メディカル（2012年3月発行）

疎10 日経メディカル（2012年5月発行）

疎11 日経メディカル（2012年6月発行）